

対馬海ごみシンポジウム2023

参加
無料

テーマ「対馬の美しい海を守るために」
～海洋漂着物問題のこれから～

2023年 7月15日(土)

時間：13:00～16:00

場所：対馬市交流センター 2階イベントホール

開会セレモニー

講演

【海洋プラスチックごみ問題の現状と取組について】

環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋環境室長 杉本留三

【海洋プラスチックごみ問題を切り口としたSDGs未来都市・対馬市の持続可能なしまづくり】

対馬市しまづくり推進部 SDGs推進課 係長 前田 剛

【リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ】

鹿児島県大崎町 環境政策課 課長 松元昭二

【対馬モデル案構想の実現に向けて～「海ごみ」から「共創の価値」の創出を目指して～】

(株)関西再資源ネットワーク 代表取締役社長 福田裕司

【ブルーオーシャン・イニシアチブが対馬で目指すもの】

(一社)ブルーオーシャン・イニシアチブ 代表理事 代島裕世

パネルディスカッション

モデレーター：対馬CAPPA 上野芳喜 代表理事

パネラー：環境省 杉本室長、ブルーオーシャン・イニシアチブ 代島代表理事、九州大学 清野准教授、
IVUSA 高橋前プロジェクトマネージャー、比田勝市長



杉本留三



前田剛



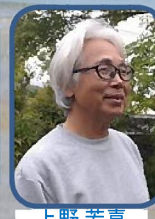
松元昭二



福田裕司



代島裕世



上野芳喜



清野聡子



高橋歩夢



比田勝尚喜

主催：対馬市

主管：対馬CAPPA

後援：

対馬海ごみシンポジウムスケジュール【13:00～（約3時間程度）】

開会セレモニー（15分）

講演・パネルディスカッション（約2時間45分）

| 順番 | 所属 | 役職 | 氏名 | 題名 | 所用時間 |
|-------|---------------------------|---|-------|--|------|
| 1 | 環境省 水・大気環境局 水環境課 海洋環境室 | 室長 | 杉本 留三 | 海洋プラスチックごみ問題の現状と取組について | 20 |
| 2 | 対馬市しまづくり推進部 SDGs推進課 | 係長 | 前田 剛 | 海洋プラスチックごみ問題を切り口としたSDGs未来都市・対馬市の持続可能なしまづくり | 20 |
| 休憩 | | | | | 10 |
| 3 | 鹿児島県大崎町 環境政策課 | 課長 | 松元 昭二 | リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ | 20 |
| 4 | (株)関西再資源ネットワーク | 代表取締役社長 | 福田 裕司 | 対馬モデル案構想の実現に向けて～「海ごみ」から「共創の価値」の創出を目指して～ | 20 |
| 5 | (一社)ブルーオーシャン・イニシアチブ | 代表理事 | 代島 裕世 | ブルーオーシャン・イニシアチブが対馬で目指すもの | 20 |
| 質疑・休憩 | | | | | 10 |
| 6 | パネルディスカッション | モデレーター：対馬CAPP 上野 芳喜 代表理事 パネラー：杉本室長、代島代表理事、清野准教授、IVUSA高橋前プロジェクトマネージャー、比田勝市長 | | | 40 |
| 7 | 閉会 | 司会者による閉会宣言と諸注意 | | | 5 |



杉本 留三（すぎもと りゅうそう）【講演者・パネラー】
環境省水大気環境局 水環境課 海洋環境室長

2022年4月以降現職。海洋環境の保全の観点から、海洋ごみ対策、海底下CCSや海洋汚染の防止等を担当。
それまでは、アジア、アフリカ等を中心とした途上国/新興国との協力の戦略及び調整、及び環境インフラ海外展開を担当。平成11年に環境庁に入庁し、これまで地球温暖化対策課、リサイクル推進室、環境影響評価審査室等を歴任。2016年までは、アジア開発銀行に3年9ヶ月出向し、二国間クレジット制度日本基金を設立。



代島裕世（だいしま ひろつぐ）【講演者・パネラー】
一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ 代表理事

現職：サラヤ株式会社 取締役 コミュニケーション本部 本部長
進学塾講師、雑誌編集、ドキュメンタリー映画制作、タクシー運転手などを経験した後、1995年サラヤ株式会社。商品企画、広告宣伝、広報PR、マーケティングを担当。2014年より同社取締役。
認定NPO法人 ホルネオ保全トラスト・ジャパン理事。
一般社団法人ブルーオーシャン・イニシアチブ 代表理事。



福田 裕司（ふくだ ひろし）【講演者】
(株)関西再資源ネットワーク 代表取締役社長

1975年生まれ。
立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科修了。サラヤ株式会社入社後、CarbonizationによるBio-Charの安定的生産プロセスの開発に従事。2004年、Bio-Charによる炭素の循環・貯留を社会実装した株式会社関西再資源ネットワークの設立に関与、同社代表取締役に就任。2016年ヨーロッパのRenewable Energy市場に参入。2020年、イギリスにおいてBio-LNG事業を開始。現在に至る。



松元 昭二（まつもと しょうじ）【講演者】
大崎町役場 環境政策課 課長

鹿児島県大崎町出身。
リサイクル率日本一の大崎町で得た知見を国内外へ発信し続けている。また世界のごみ問題の解決を目指し、リサイクルの取り組みをインドネシア国のバリ州やジャカルタ特別州へ展開するプロジェクトも推進している。そのリサイクルやごみの問題に関する見識の広さと情熱から、環境省の廃棄物管理分野の国際協力における地方公共団体との協力方策検討委員会委員も務めており、環境省、JICA（国際協力機構）関連のシンポジウムへの登壇や海外の大学等でも講演している。



前田 剛（まえだ つよし）【講演者】
対馬市しまづくり推進部SDGs推進課 副参事兼係長

1979年、長崎県雲仙市国見町出身。
立教大学・同大学院で観光学を専攻。
2005年、対馬野生生物保護センター職員として対馬に移住。
ツシヤママネコ（国内希少野生動物種）の保全活動に従事した後、対馬市に入庁。
現在、SDGs未来都市・対馬市におけるSDGs推進の総合調整を担当。
立教大学ESD研究所客員研究員。



清野 聡子（せいの さとこ）【パネラー】
九州大学大学院工学研究院
環境社会部門生態工学研究室准教授

神奈川県出身、福岡市在住。
専門は生態工学、海岸環境保全・再生、自然の参加型管理、環境計画・法制度、ユース育成等。対馬市の海洋保護区、海ごみ、グローバル大学、SDGsの海関係の政策に専門家として参画。漁業者や市民と共に対馬の海を調査。『対馬魚類図鑑～対馬のさかなと人の暮らし～』を対馬市と制作。



高橋歩夢（たかはし あゆむ）【パネラー】
NPO法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）
前プロジェクトマネージャー

IVUSA卒業生。
第3回長崎県対馬市海岸清掃活動 前プロジェクトマネージャー（活動リーダー）
長崎県立大学1年生の時にIVUSA会員になり、以来対馬での海岸清掃活動に第一回活動から参加。
大学卒業後も月に1回対馬に行くことを目標に、社会人生活を奮闘中。



上野芳喜【モデレーター】
一般社団法人対馬CAPP 代表理事

対馬市出身。
2003年（有）エコツアー設立。その後2017年、海岸漂着ごみ対策を進展させるため、現団体を設立。海岸清掃イベント等、海ごみ対策の普及啓発活動を実施。行政と市民・民間団体・関係者との連携・調整・情報共有を行う”中間支援組織”となるべく活動中。